

平成26年度 決算状況(市区町村)

都道府県名 愛媛県

総務省

- 目次 -

市区町村名 ページ

松山市	2
今治市	3
宇和島市	4
八幡浜市	5
新居浜市	6
西条市	7
大洲市	8
伊予市	9
四国中央市	10
西予市	11
東温市	12
上島町	13
久万高原町	14
松前町	15
砥部町	16
内子町	17
伊方町	18
松野町	19
鬼北町	20
愛南町	21

平成26年度 決算状況		人 口	22年国調 17年国調 増減率	517,231人 514,937人 0.4%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造	都道府県名	団体名	市町村類型	中核市
歳入の状況 (単位千円・%)		区分	決算額	構成比	経常一般財源等 構成比	27. 1. 1	517,462人	514,690人	38	2019	地方交付税種地	1-6
区 分		決 算 額	構 成 比	経 常 一 般 財 源 等	構 成 比	26. 1. 1	518,050人	515,397人	2 2年国調	1 7年国調	平成26年度(千円) 平成25年度(千円)	
地方交付税	68,392,986	36.7	68,392,986	68.5	市町村税の状況 (単位千円・%)	第1次			8,087	9,983	愛媛県 松山市	1-6
地方譲与税	1,235,986	0.7	1,235,986	1.2		第2次			3.6	4.3		
地方割交付金	203,388	0.1	203,388	0.2		第3次			42,280	45,105		
配当割交付金	461,924	0.2	461,924	0.5		普通税			174,203	171,168		
株式等譲渡所得割交付金	303,466	0.2	303,466	0.3		法定普通税			77.6	73.8		
地方消費税交付金	5,599,230	3.0	5,599,230	5.6		市町村民税						
ゴルフ場利用税交付金	118,394	0.1	118,394	0.1		個人均等割						
特別地方消費税交付金	-	-	-	-		所得割						
自動車取得税交付金	112,246	0.1	112,246	0.1		法人均等割						
軽油引取税交付金	-	-	-	-		法人税割						
地方特例交付金	283,764	0.2	283,764	0.3		固定資産税						
地方交付税	24,598,864	13.2	22,840,536	22.9		うち純固定資産税						
内訳	22,840,536	12.2	22,840,536	22.9		軽自動車税						
特別交付税	1,758,319	0.9	-	-	市町村たばこ税							
震災復興特別交付税	9	0.0	-	-	鉱産税							
(一般財源計)	101,310,248	54.3	99,551,920	99.7	特別土地保有税							
交通安全対策特別交付金	81,186	0.0	81,186	0.1	法定外普通税							
分担金・負担金	1,039,843	0.6	488	0.0	目的税							
使用料	2,637,897	1.4	179,504	0.2	法定目的税							
手数料	988,916	0.5	-	-	入湯税							
国庫支出金	38,547,528	20.7	-	-	事業所税							
国有提供交付金 (特別区財調交付金)	3,903	0.0	3,903	0.0	都市計画税							
都道府県支出金	12,560,459	6.7	-	-	水利地益税等							
財産収入	1,461,109	0.8	35,042	0.0	法定外目的税							
寄附金	68,803	0.0	-	-	旧法による税							
繰入金	3,115,301	1.7	-	-	合 計	68,392,986	100.0	1,279,233				
繰越金	4,702,007	2.5	-	-								
諸収入	5,599,535	3.0	31,741	0.0								
地方債	14,362,100	7.7	-	-								
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-								
うち臨時財政対策債	8,814,500	4.7	-	-								
歳入合計	186,478,835	100.0	99,883,784	100.0								

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日(平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口)を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況				人 口 増 減 率	22年国調 17年国調 増減率	121,735 人 123,952 人 -1.8 %	区 分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造	都道府県名 団体名 市町村類型	- 1			
				面 積 人 口 密 度	積 算 率	234.46 km ² 519 人	27. 1. 1 26. 1. 1 増減率	123,330 人 124,183 人 -0.7 %	122,470 人 123,417 人 -0.8 %	区 分 22年国調 17年国調	38 愛媛県	2051 新居浜市	地方交付税種地 1-4		
歳入の状況 (単位千円・%)										平成26年度(千円)		平成25年度(千円)			
区 分	決 算 額	構 成 比	経常一般財源等												
地方税	18,920,673	37.6	17,739,565	70.2											
地方譲与税	337,689	0.7	337,689	1.3											
配当割交付金	49,821	0.1	49,821	0.2											
株等譲渡所得割交付金	113,119	0.2	113,119	0.4											
地方消費税交付金	74,305	0.1	74,305	0.3											
ゴルフ場利用税交付金	1,329,431	2.6	1,329,431	5.3											
特別地方消費税交付金	38,138	0.1	38,138	0.2											
自動車取得税交付金	-	-	-	-											
軽油引取税交付金	31,565	0.1	31,565	0.1											
地方特例交付金	-	-	-	-											
地方交付税	67,942	0.1	67,942	0.3											
内 普通交付税	6,178,466	12.3	5,401,676	21.4											
内 特別交付税	5,401,676	10.7	5,401,676	21.4											
内 震災復興特別交付税	776,770	1.5	-	-											
内 20	20	0.0	-	-											
(一般財源計)	27,141,149	54.0	25,183,251	99.7											
交通安全対策特別交付金	18,568	0.0	18,568	0.1											
分担金・負担金	581,402	1.2	-	-											
使用料	750,982	1.5	36,257	0.1											
手数料	225,021	0.4	-	-											
国庫支出金	7,764,321	15.4	-	-											
国有提供交付金	-	-	-	-											
(特別区財調交付金)	-	-	-	-											
都道府県支出金	3,172,415	6.3	-	-											
財産収入	320,257	0.6	7,621	0.0											
寄附金	84,447	0.2	-	-											
繰入金	2,111,513	4.2	-	-											
繰越金	1,590,741	3.2	-	-											
諸収入	1,402,144	2.8	18,725	0.1											
地方債	5,117,700	10.2	-	-											
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-											
うち臨時財政対策債	2,400,000	4.8	-	-											
歳入合計	50,280,660	100.0	25,264,422	100.0											
性質別歳出の状況 (単位千円・%)				目的別歳出の状況 (単位千円・%)				区 分		平成26年度(千円)		平成25年度(千円)			
区 分	決 算 額	構 成 比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区 分	決 算 額(A)	構 成 比	(A)のうち 普通建設事業費	(A)の 充当一般財源等					
人件費	7,557,294	15.5	6,814,074	6,368,313	23.0	議会費	390,140	0.8	-	390,140	14,967,035	14,746,934			
うち職員給与	4,787,052	9.8	4,247,821	-	-	総務費	4,971,389	10.2	108,647	4,500,928	20,074,960	19,662,880			
扶助費	10,691,300	22.0	2,855,167	2,679,988	9.7	民生費	18,170,383	37.4	371,045	8,722,964	19,386,116	19,190,862			
公債費	5,552,933	11.4	5,373,304	5,373,304	19.4	衛生費	3,286,985	6.8	610,675	2,813,191	27,213,960	27,426,143			
内 元利償還金	4,984,549	10.3	4,823,193	4,823,193	17.4	労働費	341,027	0.7	-	20,231	標準財政規模	27,213,960	27,426,143		
内 一時借入金利息	568,384	1.2	550,111	550,111	2.0	農林水産業費	749,078	1.5	347,229	540,104	財政力指数	0.75	0.74		
(義務的経費計)	23,801,527	49.0	15,042,545	14,421,605	52.1	商工費	1,358,807	2.8	62,944	718,928	実質収支比率(%)	2.1	3.3		
物件費	6,373,111	13.1	5,388,335	3,960,524	14.3	土木費	5,197,352	10.7	1,874,018	3,674,347	公債費負担比率(%)	16.3	16.8		
維持補修費	435,480	0.9	352,878	352,878	1.3	消防費	1,983,875	4.1	727,731	1,343,029	健全化判断比率	-	-		
補助費等	1,254,599	2.6	1,041,876	330,176	1.2	教育費	6,316,709	13.0	3,373,804	3,147,564	連結実質赤字比率(%)	-	-		
うち一部事務組合負担金	11,443	0.0	11,443	-	-	災害復旧費	131,651	0.3	-	16,529	実質公債費比率(%)	6.5	6.5		
繰出金	7,139,299	14.7	6,274,220	3,953,187	14.3	公債費	5,553,421	11.4	-	5,373,792	将来負担比率(%)	-	-		
積立金	1,255,799	2.6	1,215,398	-	-	諸支出費	162,714	0.3	76,839	85,875	積立金	5,028,003	5,702,003		
投資・出資金・貸付金	669,133	1.4	35	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	現在高	540,872	664,770		
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	歳出合計	48,613,531	100.0	7,552,932	31,347,622	特定目的	6,521,219	6,561,606		
投資的経費	7,684,583	15.8	2,032,335	2,032,335	8.5	經常経費充当一般財源等計	7,160,124	14.7	-	-	地方債現在高	47,910,037	47,776,886		
うち人件費	119,846	0.2	111,433	111,433	0.2	經常収支比率	83.2% (91.1%)				(債務負担行為額)	-	-		
内 普通建設事業費	7,552,932	15.5	2,015,806	2,015,806	8.5	公営事業等への繰出	1,832,005	3.8	1,832,005	1,832,005	物件等購入保証・補償その他	4,924,646	5,376,682		
うち補助	4,131,916	8.5	157,778	157,778	0.6	下水道	379,265	0.8	-	-	収益事業収入	-	-		
うち単独	3,385,251	7.0	1,823,663	1,823,663	7.0	港湾整備	85,875	0.2	-	-	土地開発基金現在高	800,000	800,000		
災害復旧事業費	131,651	0.3	16,529	16,529	0.3	交通	25,100	0.1	-	-	徴収率(%)	99.0	96.6		
失業対策事業費	-	-	-	-	-	観光施設	1,173,000	2.4	-	-	現・計	99.0	97.1		
歳出合計	48,613,531	100.0	31,347,622	31,347,622	64.7	国民健康保険	3,664,879	7.5	-	-	合計	98.9	96.2		
				33,014,751千円											
				経常収支比率 83.2% (91.1%)											
				(減収補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)											
				歳入一般財源等											
				33,014,751千円											

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業費負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況				人	22年国調	47,157人	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名	団体名	市町村類型	-1	
					口	17年国調	27.1.1	46,311人	46,187人	区分	22年国調	17年国調	38	2078	地方交付税種地	1-2	
					増減率	-7.1%	26.1.1	46,911人	46,772人	第1次	2,588	3,408					
					面積	432.22 km ²	増減率	-1.3%	-1.3%	第2次	12.6	14.3					
					人口密度	109人				第3次	4,628	5,954	区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	
歳入の状況 (単位千円・%)																	
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況 (単位千円・%)				指定団体等の指定状況		収入					
地方税		4,595,050	18.6	4,595,050	30.9	普通税		4,594,326	100.0	64,049	旧新産	×	歳入総額				
地方譲与税		369,886	1.5	369,886	2.5	法定普通税		4,594,326	100.0	64,049	旧工特	×	歳出総額				
配当交付金		12,883	0.1	12,883	0.1	市町村民税		1,873,115	40.8	64,049	低開発	×	歳入歳出差引				
配当交付金		29,275	0.1	29,275	0.2	個人均等割		65,799	1.4	-	旧産炭	×	翌年度に繰越すべき財源				
株式等譲渡所得割交付金		19,237	0.1	19,237	0.1	所得割		1,416,469	30.8	-	山振	×	実質収支				
地方消費税交付金		504,961	2.0	504,961	3.4	法人均等割		144,302	3.1	23,866	過疎	×	単年度収支				
ゴルフ場利用税交付金		10,006	0.0	10,006	0.1	法人税割		246,545	5.4	40,183	首都	×	積立金				
特別地方消費税交付金		-	-	-	-	固定資産税		2,255,216	49.1	-	近畿	×	繰上償還金				
自動車取得税交付金		45,113	0.2	45,113	0.3	うち純固定資産税		2,245,752	48.9	-	中部	×	積立金取崩し額				
軽油引取税交付金		-	-	-	-	軽自動車税		127,228	2.8	-	財政健全化等	×	実質単年度収支				
地方特例交付金		11,973	0.0	11,973	0.1	市町村たばこ税		338,767	7.4	-	指数表選定	×					
地方交付税		10,804,505	43.6	9,197,110	61.8	法定外普通税		-	-	-	財源超過	×					
内 普通交付税		9,197,110	37.1	9,197,110	61.8	目的税		724	0.0	-	一部事務組合加入の状況	特別職等	定数	適用開始年月日	一人当たり平均給料(報酬)月額(百円)		
内 特別交付税		1,607,395	6.5	-	-	法定目的税		724	0.0	-	議員公務災害	×	一般職員	455	1,433,250	3,150	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	入湯税		724	0.0	-	非常勤公務災害	×	うち消防職員	-	-	-	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	事業所税		-	-	-	退職手当	×	うち技能労務員	31	89,993	2,903	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	都市計画税		-	-	-	事務機共同	×	教育公務員	18	57,808	3,212	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	水利地益税等		-	-	-	税務事務	×	臨時職員等	-	-	-	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	法定外目的税		-	-	-	老人福祉	×	合	473	1,491,058	3,152	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	旧法による税		-	-	-	伝染病	×	合	-	-	-	
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	合計		4,595,050	100.0	64,049							
内 震災復興特別交付税		-	-	-	-	目的別歳出の状況 (単位千円・%)											
区分					決算額	構成比	区分				決算額(A)	構成比	区分				
人件費					4,198,427	17.9	3,722,460	3,654,680	23.8	議会費	217,231	0.9	-	217,231	基準財政収入額	4,314,958	4,247,491
うち職員給与					2,664,492	11.4	2,210,340	-	-	総務費	3,784,177	16.2	878,867	2,870,297	基準財政需要額	12,094,209	12,122,794
扶助費					3,345,244	14.3	1,019,893	1,019,893	6.7	民生費	7,571,726	32.4	357,533	4,146,808	標準財政収入額等	5,479,350	5,422,690
公債費					3,141,391	13.4	3,050,260	3,050,260	19.9	衛生費	1,975,346	8.4	151,577	1,758,380	標準財政規模	15,608,254	15,888,704
内 元利償還金					2,844,153	12.2	2,758,786	2,758,786	18.0	労働費	70,000	0.3	-	-	財政力指数	0.35	0.34
内 一時借入金利息					297,238	1.3	291,474	291,474	1.9	農林水産業費	844,868	3.6	193,986	576,482	実質収支比率(%)	8.7	8.6
(義務的経費計)					10,685,062	45.7	7,792,613	7,724,833	50.4	商工費	473,800	2.0	62,531	354,747	公債費負担比率(%)	16.5	17.9
物件費					3,413,367	14.6	2,832,928	2,425,318	15.8	土木費	2,015,955	8.6	967,943	1,384,617	健全化判断比率	-	-
維持補修費					307,014	1.3	261,169	251,632	1.6	消防費	959,541	4.1	71,048	914,709	連結実質赤字比率(%)	-	-
補助費等					2,553,839	10.9	2,253,462	1,823,486	11.9	教育費	2,231,795	9.5	460,213	1,867,192	実質公債費比率(%)	11.7	13.5
うち一部事務組合負担金					1,088,997	4.7	1,028,397	995,087	6.5	災害復旧費	107,413	0.5	-	4,702	将来負担比率(%)	44.0	57.1
繰出金					2,531,237	10.8	2,209,383	1,538,390	10.0	公債費	3,141,432	13.4	-	3,050,301	積立金	3,018,891	3,017,347
積立金					506,304	2.2	500,086	-	-	諸支出費	-	-	-	-	財調減債特定目的	1,049,484	1,048,954
投資・出資金・貸付金					145,350	0.6	30	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	地方債現在高	24,834,451	25,732,604
前年度繰上充用金					-	-	-	-	-	歳出合計	23,393,284	100.0	3,143,698	17,145,466	債務負担行為額	1,569,694	1,718,412
投資的経費					3,251,111	13.9	1,295,795	1,295,795	8.9	公計	3,016,923		国会	実質収支	-109,596	-	
うち人件費					121,763	0.5	106,688	106,688	0.7	病院	361,691		国民健康保険	再差引収支	-202,216	-	
内 普通建設事業費					3,143,698	13.4	1,291,093	1,291,093	8.9	下水道	345,104		健康保険	加入世帯数(世帯)	7,670	-	
内 うち補助					698,019	3.0	99,416	99,416	0.7	簡易水道	161,602		国民健康保険	被保険者数(人)	12,879	-	
内 うち単独					2,391,983	10.2	1,167,381	1,167,381	8.2	上水道	123,702		国民健康保険	保険税(料)収入額	83	-	
内 災害復旧事業費					107,413	0.5	4,702	4,702	0.03	その他	1,564,929		国民健康保険	被保険者1人当り	124	-	
内 失業対策事業費					-	-	-	-	-	その他	-		国民健康保険	保険給付費	328	-	
歳出合計					23,393,284	100.0	17,145,466	17,145,466	73.3					徴収率(%)	98.4	95.2	
							経常経費充当一般財源等計	13,763,659千円						現計	97.8	94.5	
							経常収支比率	89.8% (92.5%)						合計	98.6	95.0	
							(減収補填償(特例分)及び臨時財政対策債除く)							市町村民税	97.8	94.5	
							歳入一般財源等	18,516,864千円						純固定資産税	98.6	95.3	

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には委託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び委託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況		人 口 増減率	22年国調 17年国調 増減率	38,017人 39,493人 -3.7%	区分	住民基本台帳人口		うち日本人		産業構造			都道府県名 38 愛媛県	団体名 2108 伊予市	市町村類型 地方交付税種地	- 1
						区分	22年国調	17年国調	区分	22年国調	17年国調	22年国調				
歳入の状況 (単位千円・%)																
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況 (単位千円・%)				指定団体等の指定状況				区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	
					区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	一人当たり平均給料月額(百円)				
地方税	3,833,338	21.8	3,833,338	37.3	普通税	3,833,338	100.0	44,713	旧新産	×			歳入総額	17,571,471	18,031,070	
地方譲与税	151,692	0.9	151,692	1.5	法定普通税	3,833,338	100.0	44,713	旧工特	×			歳出総額	16,794,892	17,195,298	
配子割交付金	11,364	0.1	11,364	0.1	市町村民税	1,531,709	40.0	44,713	低開発	×			歳入歳出差引	776,579	835,772	
配当割交付金	25,847	0.1	25,847	0.3	個人均等割	57,566	1.5	-	旧産炭	×			翌年度に繰越すべき財源	181,809	193,167	
株式等譲渡所得割交付金	16,991	0.1	16,991	0.2	所得割	1,204,931	31.4	-	山振	×			実質収支	594,770	642,605	
地方消費税交付金	383,430	2.2	383,430	3.7	法人均等割	96,148	2.5	16,452	過疎	×			単年度収支	-47,835	7,292	
ゴルフ場利用税交付金	13,932	0.1	13,932	0.1	法人税割	173,064	4.5	28,261	首都	×			積立金	1,144	500,000	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,985,215	51.8	-	近畿	×			繰上償還金	-	-	
自動車取得税交付金	18,510	0.1	18,510	0.2	うち純固定資産税	1,979,106	51.6	-	中部	×			積立金取崩し額	-	340,000	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	97,939	2.6	-	財政健全化等	×			実質単年度収支	-46,691	167,292	
地方特例交付金	19,509	0.1	19,509	0.2	市町村たばこ税	218,475	5.7	-	指数表選定	×			区分	職員数(人)	給料月額(百円)	一人当たり平均給料月額(百円)
地方交付税	6,495,699	37.0	5,786,450	56.3	法定外普通税	-	-	-	財源超過	×			一般職員	286	904,046	3,161
内 普通交付税	5,786,450	32.9	5,786,450	56.3	目的税	-	-	-	一部事務組合加入の状況				うち消防職員	-	-	-
内 特別交付税	706,499	4.0	-	-	法定目的税	-	-	-	議員公務災害	×	し尿処理	市区町村長	1	25.07.01	7,785	
内 震災復興特別交付税	2,750	0.0	-	-	入湯税	-	-	-	非常勤公務災害	×	ごみ処理	副市区町村長	1	25.07.01	6,240	
(一般財源計)	10,970,312	62.4	10,261,063	99.8	事業所税	-	-	-	退職手当	×	火葬場	教育長	1	25.07.01	5,339	
交通安全対策特別交付金	5,498	0.0	5,498	0.1	都市計画税	-	-	-	事務機共同	×	常備消防	議会議長	1	25.04.01	4,130	
分担金・負担金	40,004	0.2	3,784	0.0	水利地益税等	-	-	-	税務事務	×	小学校	議会副議長	1	25.04.01	3,360	
使用料	285,785	1.6	371	0.0	法定外目的税	-	-	-	老人福祉	×	中学校	議会議員	18	25.04.01	3,080	
手数料	64,527	0.4	2	0.0	旧法による税	-	-	-	伝染病	×	その他					
国庫支出金	1,751,381	10.0	-	-	合 計	3,833,338	100.0	44,713								
国 有 提 供 交 付 金 (特別区財調交付金)	-	-	-	-	区内											
都道府県支出金	1,196,679	6.8	-	-	区内											
財産収入	55,276	0.3	1,769	0.0	区内											
寄附金	4,261	0.0	-	-												
繰入金	114,939	0.7	-	-												
繰越金	835,772	4.8	-	-												
諸収入	290,437	1.7	11,608	0.1												
地方債	1,956,600	11.1	-	-												
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-												
うち臨時財政対策債	712,300	4.1	-	-												
歳入合計	17,571,471	100.0	10,284,095	100.0												
性質別歳出の状況 (単位千円・%)					目的別歳出の状況 (単位千円・%)					区分				平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)の充当一般財源等	基準財政収入額	3,422,957	3,367,209			
人件費	2,655,314	15.8	2,394,607	2,392,685	21.8	議会費	173,574	1.0	-	-	基準財政需要額	8,013,616	7,945,563			
うち職員給料	1,660,617	9.9	1,660,617	-	-	総務費	2,201,256	13.1	337,180	1,674,699	標準収入額等	4,380,578	4,330,067			
扶助費	2,275,490	13.5	651,789	651,789	5.9	民生費	5,632,055	33.5	189,629	3,045,822	標準財政規模	10,879,370	10,866,115			
公債	1,831,361	10.9	1,815,479	1,815,479	16.5	衛生費	1,208,791	7.2	7,157	1,132,292	財政力指数	0.42	0.42			
内 元利償還金	1,591,410	9.5	1,575,528	1,575,528	14.3	労働費	5,000	0.0	-	-	実質収支比率(%)	5.5	5.9			
内 元金	239,777	1.4	239,777	239,777	2.2	農林水産業費	690,590	4.1	85,212	424,037	公債費負担比率(%)	14.5	14.7			
内 利息	174	0.0	174	174	0.0	商工費	320,469	1.9	13,536	276,504	健全化判断比率	-	-			
(義務的経費計)	6,762,165	40.3	4,861,875	4,859,953	44.2	土木費	1,627,288	9.7	503,110	1,198,338	実質公債費比率(%)	10.7	12.1			
物件費	2,926,844	17.4	2,409,407	2,137,555	19.4	消防費	809,539	4.8	23,711	804,832	将来負担比率(%)	48.6	50.9			
維持補修費	69,879	0.4	44,305	44,305	0.4	教育費	2,283,320	13.6	1,076,775	1,225,923	積立金	2,342,127	2,340,983			
補助費等	2,694,876	16.0	2,115,675	1,869,797	17.0	災害復旧費	11,649	0.1	-	3,140	財調	240,480	240,372			
うち一部事務組合負担金	1,127,519	6.7	1,123,735	1,123,735	10.2	公債費	1,831,361	10.9	-	1,815,479	減価	2,356,546	2,386,656			
繰出金	1,973,189	11.7	1,732,582	966,425	8.8	諸支出費	-	-	-	-	特定目的	18,895,999	18,530,809			
積立金	79,980	0.5	7	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	地方債現在高	-	-			
投資・出資金・貸付金	40,000	0.2	-	-	-	歳出合計	16,794,892	100.0	2,236,310	11,774,591	(債務負担行為額)	-	-			
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-						物件等購入保証・補償	-	-			
投資的経費	2,247,959	13.4	610,740	610,740	5.7	公営事業等への繰出	1,973,189	11.8	-	-	その他	1,035,213	1,138,589			
うち人件費	27,850	0.2	27,850	27,850	0.2	下水道	716,380	4.3	-	-	収益事業収入	-	-			
内 普通建設事業費	2,236,310	13.3	607,600	607,600	5.6	簡易水道	104,721	0.6	-	-	土地開発基金現在高	558,914	558,914			
内 うち補助	552,740	3.3	38,562	38,562	0.2	観光施設	49,777	0.3	-	-	徴収率(%)	98.5	95.7			
内 うち単独	1,671,753	10.0	557,221	557,221	5.1	上水道	-	-	-	-	現計	98.5	95.7			
災害復旧事業費	11,649	0.1	3,140	3,140	0.0	国民健康保険	377,694	2.2	-	-	市町村民税	98.4	95.5			
失業対策事業費	-	-	-	-	-	その他	724,617	4.3	-	-	純固定資産税	98.3	95.3			
歳出合計	16,794,892	100.0	11,774,591	11,774,591	69.8%											
経常経費充当一般財源等計 9,878,035千円					経常収支比率 89.8% (96.1%) (減収補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)					歳入一般財源等				歳入一般財源等計 12,551,170千円		
経常経費充当一般財源等計 9,878,035千円					経常収支比率 89.8% (96.1%) (減収補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)					歳入一般財源等				歳入一般財源等計 12,551,170千円		

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況と取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況		人 口 増減率	22年国調 17年国調 増減率	7,648人 8,098人 -5.6%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造			都道府県名	団 体 名	市町村類型	- 1			
		面 積 人 口 密 度	積 累 人 口 密 度	30.38 km ² 252人	27. 1. 1	7,377人	7,114人	区 分	22年国調	17年国調	38	3562	地方交付税種地	2 - 1			
					26. 1. 1	7,450人	7,199人	第1次	305 9.4	425 12.1							
歳 入 の 状 況 (単位千円・%)																	
区 分	決 算 額	構 成 比	経常一般財源等 構 成 比			市 町 村 税 の 状 況 (単位千円・%)					区 分			平成26年度(千円)	平成25年度(千円)		
地 方 税	634,868	8.5	634,868 16.0			普 通 税					歳 入 総 額	7,474,115		7,062,042			
地 方 譲 与 税	24,601	0.3	24,601 0.6			法 定 普 通 税						歳 出 総 額	7,287,321		6,589,270		
配 当 割 交 付 金	2,312	0.0	2,312 0.1			市 町 村 民 税					歳 入 歳 出 差 引	186,794		472,772			
配 当 割 交 付 金	5,144	0.1	5,144 0.1			内 個人均等割					翌年度に繰越すべき財源	65,022		118,042			
株式等譲渡所得割交付金	3,347	0.0	3,347 0.1			所得割					実 質 収 支	121,772		354,730			
地方消費税交付金	74,023	1.0	74,023 1.9			法人均等割					単 年 度 収 支	-232,958		19,848			
ゴルフ場利用税交付金	-	-	- -			法人税割					積 立 金	580		540			
特別地方消費税交付金	-	-	- -			固定資産税					繰 上 償 還 金	-		-			
自動車取得税交付金	2,995	0.0	2,995 0.1			うち純固定資産税					積 立 金 取 崩 し 額	-		-			
軽油引取税交付金	-	-	- -			軽自動車税					実 質 単 年 度 収 支	-232,378		20,388			
地方特例交付金	1,346	0.0	1,346 0.0			市町村たばこ税					区 分			職員数(人)	給料月額(百円)	一人当たり平均給料月額(百円)	
地方交付税	3,600,499	48.2	3,198,435 80.5			法定外普通税					一 般 職 員	163		435,210	2,670		
内 通 交 付 税	3,198,435	42.8	3,198,435 80.5			法定外普通税					うち消防職員	24		61,368	2,557		
特別交付税	402,064	5.4	- -			目的税					うち技能労務員	9		19,386	2,154		
震災復興特別交付税	-	-	- -			法定外目的税					教育公務員	2		*	*		
(一般財源計)	4,349,135	58.2	3,947,071 99.3			旧法による税					臨時職員等	-		-	-		
交通安全対策特別交付金	-	-	- -			入湯税					等 合 計	165		443,926	2,690		
分担金・負担金	32,220	0.4	- -			事業所税					ラスパイレス指数			86.5			
使用料	167,186	2.2	123 0.0			都市計画税					一部事務組合加入の状況			特別職等	定数	適用開始年月日	一人当たり平均給料(報酬)月額(百円)
手数料	20,855	0.3	- -			水利地益税等					議員公務災害	し尿処理	×	市区町村長	1	16.10.01	7,240
国庫支出金	456,812	6.1	- -			法定外目的税					非常勤公務災害	ごみ処理	×	副市区町村長	1	16.10.01	5,940
有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	- -			旧法による税					退職手当	火葬場	×	教育長	1	16.10.01	5,440
都道府県支出金	467,268	6.3	- -			合 計					事務機共同	常備消防	×	議会議長	1	16.10.01	2,340
財産収入	33,965	0.5	26,248 0.7			歳出合計					税務事務	小学校	×	議会副議長	1	16.10.01	1,890
寄附金	2,351	0.0	- -			歳入一般財源等					老人福祉	中学校	×	議会議員	12	16.10.01	1,710
繰入金	2,380	0.0	- -			歳入合計					伝染病	その他	×				
繰越金	471,737	6.3	- -								区分			平成26年度(千円)	平成25年度(千円)		
諸収入	169,606	2.3	204 0.0								基準財政収入額	632,713		565,798			
地方債	1,300,600	17.4	- -								基準財政需要額	3,194,365		3,059,633			
うち減収補填債(特例分)	-	-	- -								標準税収入額等	806,671		720,192			
うち臨時財政対策債	221,800	3.0	- -								標準財政規模	4,227,004		4,159,890			
歳入合計	7,474,115	100.0	3,973,646 100.0								財政力指数	0.20		0.20			

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日(平成25年度以降は、平成25年度以降の調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登記されている人口)を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況

区 分	22年国調 17年国調 増減率		10,882人 12,095人 -10.0%		区 分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造			都道府県名	団 体 名	市町村類型	- 0			
	面 積 人 口 密 度	積 累 率	93.98 km ² 116人	増 減 率	27. 1. 1 26. 1. 1	10,489人 10,768人	10,419人 10,697人	区 分	22年国調	17年国調					38	4429	地方交付税種地
歳 入 の 状 況 (単位千円・%)											市 町 村 税 の 状 況 (単位千円・%)			指定団体等 の 指 定 状 況			
区 分	決 算 額	構 成 比	経 常 一 般 財 源 等	構 成 比	区 分	収 入 済 額	構 成 比	超 過 課 税 分	一 般 職 員	うち消防職員	うち技能労務員	教育公務員	臨時職員	等 合 計	ラスパイレス指数	一 人 当 たり 平 均 給 料 (百 円)	
地 方 税	2,641,287	23.8	2,641,287	46.3	普 通 税	2,641,287	100.0	-	旧 新 産	×							
地 方 譲 与 税	79,539	0.7	79,539	1.4	法 定 普 通 税	2,641,287	100.0	-	旧 工 特	×							
配 当 割 交 付 金	2,613	0.0	2,613	0.0	市 町 村 民 税	415,926	15.7	-	低 開 発	×							
配 当 割 交 付 金	5,903	0.1	5,903	0.1	内 訳				旧 産 炭	×							
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,869	0.0	3,869	0.1	個人均等割	13,948	0.5	-	山 振 振	×							
地 方 消 費 税 交 付 金	111,604	1.0	111,604	2.0	所 得 割	265,729	10.1	-	過 疎	×							
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	-	-	-	-	法 人 均 等 割	27,262	1.0	-	首 都	×							
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	-	-	-	-	法 人 税 割	108,987	4.1	-	近 畿	×							
自 動 車 取 得 税 交 付 金	9,743	0.1	9,743	0.2	固 定 資 産 税	2,150,892	81.4	-	中 部	×							
軽 油 引 取 税 交 付 金	-	-	-	-	うち純固定資産税	2,150,629	81.4	-	財 政 健 全 化 等	×							
地 方 特 例 交 付 金	1,129	0.0	1,129	0.0	軽 自 動 車 税	25,485	1.0	-	指 数 表 選 定	×							
地 方 交 付 税	3,063,590	27.6	2,819,410	49.4	市 町 村 た ば こ 税	48,984	1.9	-	財 源 超 過	×							
内 訳	2,819,410	25.4	2,819,410	49.4	鉾 産 税	-	-	-									
特 別 交 付 税	244,180	2.2	-	-	特 別 土 地 保 有 税	-	-	-									
震 災 復 興 特 別 交 付 税	-	-	-	-	法 定 外 普 通 税	-	-	-									
(一 般 財 源 計)	5,919,277	53.3	5,675,097	99.4	目 的 税	-	-	-									
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,358	0.0	1,358	0.0	法 定 目 的 税	-	-	-									
分 担 金 ・ 負 担 金	19,857	0.2	-	-	入 湯 税	-	-	-									
使 用 料	105,866	1.0	19,484	0.3	事 業 所 税	-	-	-									
手 数 料	17,073	0.2	35	0.0	都 市 計 画 税	-	-	-									
国 庫 支 出 金	1,679,649	15.1	-	-	水 利 地 益 税 等	-	-	-									
国 有 提 供 交 付 金 (特 別 区 財 調 交 付 金)	-	-	-	-	法 定 外 目 的 税	-	-	-									
都 道 府 県 支 出 金	1,192,191	10.7	-	-	旧 法 に よ る 税	-	-	-									
財 産 収 入	67,773	0.6	-	-	合 計	2,641,287	100.0	-									
寄 附 金	32,640	0.3	-	-													
繰 上 金	802,362	7.2	-	-													
繰 越 金	257,397	2.3	-	-													
諸 収 入 地 方 債	180,460	1.6	12,086	0.2													
うち減収補償債(特例分)	820,800	7.4	-	-													
うち臨時財政対策債	409,900	3.7	-	-													
歳 入 合 計	11,096,703	100.0	5,708,060	100.0													

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
 2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
 3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日(平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口)を記載。
 5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況ととりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
 6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況				人 口	22年国調 17年国調 増減率	面積 人口密度	4,377人 4,690人 -6.7%	98.45km ² 44人	区 分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造	都道府県名	団 体 名	市町村類型	- 0																				
										27. 1. 1	4,285人	4,238人	区 分	22年国調	17年国調	38	4844	地方交付税種地	2-2																	
										26. 1. 1	4,322人	4,303人	第1次	455	453	愛媛県	松野町																			
										増減率	-0.9%	-1.5%	第2次	22.5	20.3			区 分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)																
歳入の状況 (単位千円・%)				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第3次	367	548	歳入総額						3,071,331	3,500,775														
区 分	決 算 額	構 成 比	経常一般財源等		構 成 比		市町村税の状況 (単位千円・%)					指定団体等の指定状況					歳入総額	歳出総額		歳入歳出差引	翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支			
地方譲与税	274,785	8.9	274,785		14.4		普通税					旧新産×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
地方割交付金	36,661	1.2	36,661		1.9		法定普通税					旧工特×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
配当割交付金	813	0.0	813		0.0		市町村民税					低開発×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
株式等譲渡所得割交付金	1,844	0.1	1,844		0.1		個人均等割					旧産炭×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
地方消費税交付金	38,544	1.3	38,544		2.0		所得割					山振					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-		-		法人均等割					過疎					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
特別地方消費税交付金	-	-	-		-		法人税割					首都×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
自動車取得税交付金	4,492	0.1	4,492		0.2		固定資産税					近畿×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
軽油引取税交付金	-	-	-		-		うち純固定資産税					中部×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
地方特例交付金	779	0.0	779		0.0		軽自動車税					財政健全化等×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
地方交付税	1,654,067	53.9	1,540,687		81.0		市町村たばこ税					指数表選定×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
内 訳	1,540,687	50.2	1,540,687		81.0		法定外普通税					財源超過×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
特別交付税	113,380	3.7	-		-		目的税					一部事務組合加入の状況					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
震災復興特別交付税	-	-	-		-		法定目的税					議員公務災害					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
(一般財源計)	2,013,196	65.5	1,899,816		99.9		入湯税					し尿処理					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
交通安全対策特別交付金	784	0.0	784		0.0		事業所税					ごみ処理					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
分担金・負担金	9,783	0.3	-		-		都市計画税					火葬場					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
使 用 料	48,766	1.6	410		0.0		水利地益税等					退職手当					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
手数料	8,162	0.3	-		-		法定外目的税					事務機共同×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
国庫支出金	245,182	8.0	-		-		旧法による税					税務事務					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
国有提供交付金	-	-	-		-		合計					老人福祉×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
(特別区財調交付金)	-	-	-		-							伝染病×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
都道府県支出金	227,339	7.4	-		-							一部事務組合加入の状況					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
財産収入	3,685	0.1	487		0.0							議員公務災害					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
寄附収入	1,407	0.0	-		-							非常勤公務災害×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
繰入金	-	-	-		-							退職手当					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
繰越入金	69,032	2.2	-		-							事務機共同×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
諸収入	60,945	2.0	260		0.0							税務事務					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
地方債	383,050	12.5	-		-							老人福祉×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
うち減収補償(特例分)	-	-	-		-							伝染病×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
うち臨時財政対策債	100,650	3.3	-		-							一部事務組合加入の状況					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
歳入合計	3,071,331	100.0	1,901,757		100.0							財政健全化等×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	
歳入合計	3,071,331	100.0	1,901,757		100.0							財源超過×					歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引		翌年度に繰越すべき財源		実質収支		単年度収支		積立金		繰上償還金		積立金取崩し額		実質単年度収支	

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政収入額及び基準財政需要額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日(平成25年度以降は、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口)を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

平成26年度 決算状況				人 口 増 減 率	22年国調 17年国調 増減率	11,633人 12,432人 -6.4%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造			都道府県名	団 体 名	市町村類型	- 2	
				面 積 人 口 密 度	積 累 面 積 人 口 密 度	241.88km ² 48人	27. 1. 1	11,182人	11,109人	区分	22年国調	17年国調	38	4887	地方交付税種地	2 - 2	
							26. 1. 1	11,393人	11,319人	第1次	693 14.6	1,017 17.7	愛媛県 鬼北町				
										第2次	1,019 21.5	1,417 24.7	区分 平成26年度(千円) 平成25年度(千円)				
										第3次	3,034 63.9	3,300 57.5	歳入 総額 7,500,955 7,807,661				
							市町村税の状況 (単位千円・%)			指定団体等の指定状況			歳出 総額 7,260,920 7,626,383				
							区分	収入済額	構成比	超過課税分	区 分			歳入歳出差引 240,035 181,278			
							普通税	874,409	100.0	-	旧新産	×	翌年度に繰越すべき財源 19,451 46,115				
							法定普通税	874,409	100.0	-	旧工特	×	実質収支 220,584 135,163				
							市町村民税	341,777	39.1	-	低開発	×	単年度収支 85,421 -27,870				
							個人均等割	14,927	1.7	-	旧産炭	×	積立金 101,466 1,375				
							所得割	279,002	31.9	-	山振	×	繰上償還金 - -				
							法人均等割	25,967	3.0	-	過疎	×	積立金取崩し額 - -				
							法人税割	21,881	2.5	-	首都	×	実質単年度収支 186,887 -26,495				
							固定資産税	439,822	50.3	-	近畿	×	区 分	職員数(人)	給料月額(百円)	一人当たり平均給料月額(百円)	
							うち純固定資産税	437,590	50.0	-	中部	×	一般職員	140	423,640	3,026	
							軽自動車税	32,191	3.7	-	財政健全化等	×	うち消防職員	-	-	-	
							市町村たばこ税	60,619	6.9	-	指数表選定	×	うち技能労務員	5	15,540	3,108	
							鉱産税	-	-	-	財務超過	×	教育公務員	-	-	-	
							特別土地保有税	-	-	-	ラスパイレス指数		臨時職員	-	-	-	
							法定外普通税	-	-	-	一部事務組合加入の状況	特別職等	定数	適用開始年月日	一人当たり平均給料月額(報酬)月額(百円)		
							目的税	-	-	-	議員公務災害	し尿処理	市区町村長	1	22.04.01	7,310	
							法定目的税	-	-	-	非常勤公務災害	ごみ処理	副市区町村長	1	22.01.01	5,840	
							入湯税	-	-	-	退職手当	火葬場	教育長	1	22.04.01	5,200	
							事業所税	-	-	-	事務機共同	常備消防	議会議長	1	17.01.01	2,400	
							都市計画税	-	-	-	税務事務	小学校	議会副議長	1	17.01.01	1,880	
							水利地益税等	-	-	-	老人福祉	中学校	議会議員	12	17.01.01	1,730	
							法定外目的税	-	-	-	伝染病	その他					
							旧法による税	-	-	-							
							合計	874,409	100.0	-							
							目的別歳出の状況 (単位千円・%)			区 分			平成26年度(千円) 平成25年度(千円)				
							区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)の充当一般財源等	基準財政収入額 843,557 850,101					
							議会費	74,260	1.0	-	74,260	基準財政需要額 3,971,221 4,010,092					
							総務費	1,298,255	17.9	322,080	956,281	標準税収入額等 1,067,424 1,090,854					
							民生費	1,728,665	23.8	5,866	1,109,177	標準財政規模 4,800,416 4,914,369					
							衛生費	726,154	10.0	8,051	608,687	財政力指数 0.21 0.21					
							労働費	15,147	0.2	-	-	実質収支比率(%) 4.6 2.8					
							農林水産業費	660,345	9.1	204,756	370,607	公債費負担比率(%) 17.4 18.0					
							商工費	127,758	1.8	70,421	82,658	健全化判断比率					
							土木費	627,504	8.6	452,754	226,874	実質赤字比率(%) - -					
							消防費	459,231	6.3	229,857	235,494	連結実質赤字比率(%) - -					
							教育費	512,240	7.1	70,246	422,738	実質公債費比率(%) 12.3 13.8					
							災害復旧費	69,962	1.0	-	14,258	将来負担比率(%) 36.3 50.3					
							公債費	961,399	13.2	-	913,489	積立金 財調 1,368,813 1,192,347					
							諸支出費	-	-	-	-	現在高 特 383 383					
							前年度繰上充用金	-	-	-	-	地方債現在高 7,145,261 7,247,000					
							歳出合計	7,260,920	100.0	1,364,031	5,014,521	債務負担行為額					
							經常経費充当一般財源等計	4,180,273千円				物件等購入保証・補償 259,532 73,643					
							經常収支比率	86.7% (91.4%)				その他 152,451 172,379					
							(減収補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)					収益事業収入 - -					
							歳入一般財源等	5,254,556千円				土地開発基金現在高 305,169 289,287					
							歳入合計	7,260,920	100.0	5,014,521		徴収率(%)					
							普通建設事業費	1,364,031	18.8	357,488	100,490	合計 99.4 97.9 99.3 97.6					
							うち補助	515,031	7.1	2,593	76,865	市町村民税 99.5 98.1 99.3 97.5					
							うち単独	800,738	11.0	347,969	3,252	純固定資産税 99.2 97.6 99.2 97.5					
							災害復旧事業費	69,962	1.0	14,258	85						
							失業対策事業費	-	-	-	98						
							歳出合計	7,260,920	100.0	5,014,521	306						

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業費負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日(平成25年度以降、調査年度の1月1日現在)の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

